

大塚オーエー陶業株式会社

Company Profile

<https://www.ohmi.co.jp/>

焼きものの常識を超える

オンリーワンの技術で驚きのクリエイティヴを実現。
陶板 (toban) で新しい価値創造を追求します。

大塚グループ 企業理念

Otsuka-people creating new products for better health worldwide

世界の人々の健康に貢献する革新的な製品を創造する

わたしたちはこの企業理念のもと、大塚の遺伝子である「実証と創造」を受け継いで、「大塚だからできること」「大塚にしかできないこと」を、日々実践しようと努めてきました。そして今日、大塚グループの革新的で創造性に富んだ製品は、人々の暮らしをサポートしてまいります。

大塚オーミ陶業 企業理念

基本理念

事業領域

今を未来へ

～極めたFour S^{*}で夢を創る～

※Four S…大塚オーミ陶業の4つの独自技術(成形、焼成、仕上げ、施工)

使 命

新たなる文化価値を創造し、
人々の生活に豊かさと潤いを与える

行動指針

やりとげよう、ゴールまで!

Aim to complete

ご挨拶

私たち大塚オーミ陶業株式会社は、大塚グループが掲げるOtsuka - people creating new products for better health worldwideの理念のもと、1973年から「陶板 (toban)」の製造が始まり、世界初の薄くて歪みのない堅牢な「大塚の大型陶板 900×3000×20mm」の開発に成功しました。

続いてOTセラミックスやテラコッタの製造へと「陶板 (toban)」の可能性を追求し、幅広い表現方法や精度の高い再現性、そして信頼性の高い施工法を確立することが出来ました。これらの実績は、設計や建築に携わる方や、クリエイターや作家、そして「陶板 (toban)」を愛する皆様に支えられた賜と深く感謝致しております。

「陶板 (toban) 技術は進化を続ける」を念頭に置き、今求められるものは何かを常に考え創造して参ります。豊かな生活空間造りや文化の継承など「陶板 (toban)」の特性を活かした、大塚オーミ陶業らしい存在感のある、ものづくりを目指して参ります。

どうか、ご支援ご愛顧のほどお願い申し上げます。



大塚オーミ陶業株式会社
代表取締役社長

大杉 栄嗣



秀でた表現力と 耐久性

陶板 (toban) は水のある場所や屋外での展示も可能。
独創的なデザインワークに加え、
周囲の環境を問わず、独自の演出を実現します。

空間の主役となる 存在感

陶板 (toban) で作る空間のダイナミックさは
大塚オーミ陶業ならではの技術。
見る人の心に圧倒的な印象を与えます。

事業案内

(主な活用シーン)

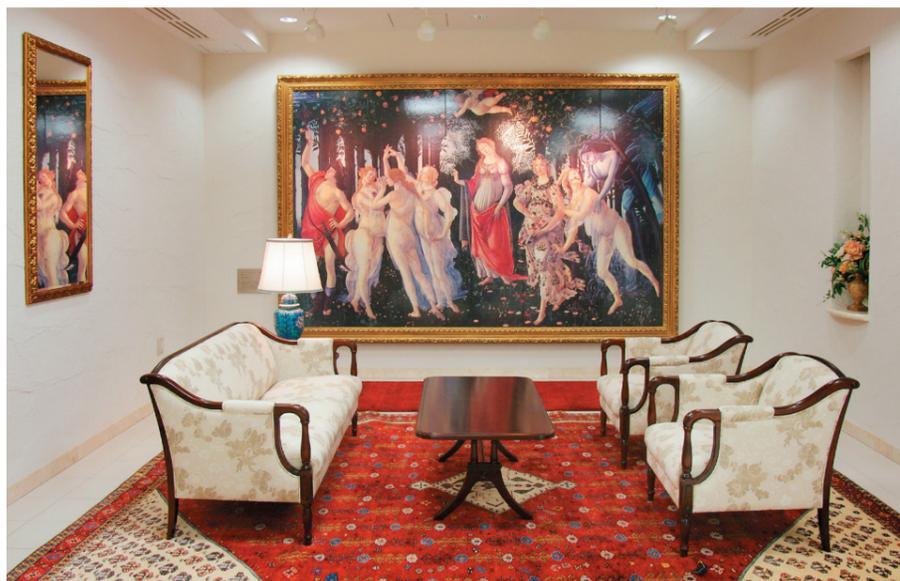
1 オリジナル作品の製作

学校・企業の周年記念や施設のエントランスなどに。オリジナルデザインの陶板 (toban) が華を添え、焼きものの独特の素朴なあたたかさや豊かな表現で記憶に残る空間を演出します。また、サイズの自由度や色調の表現力、作品の保存性の観点などから、国内外のアーティストの作品づくりにも活用されています。



2 美術作品の再現

大塚国際美術館で展示しているような世界的な絵画はもちろん、お手持ちの原画を陶板 (toban) に忠実に再現します。大切に所蔵されている古画、書など、多くの方々に見ていただきたい原画を再現し、思い出をいつまでも残すことができます。作品に触れることも可能になり、絵画の新しい楽しみ方が広がります。



私たちは空間における焼きものの在り方を追求、提案しています。

企画立案から設計・施工方法まで、トータルに検討。

オリジナリティ溢れる感性豊かなデザインワークによる、唯一無二の陶板 (toban) を提供します。

3 文化財の分野

耐候性・耐久性に優れ、過酷な状況においても変色、変質しにくい焼きものの長を生かし、「文化財の複製」や「文化財指定建築の補修」に活用されています。陶による複製は、文化財に触れることを可能とし、貴重な文化財をより身近に感じるための新しい展示方法として期待されています。



4 屋外サイン

環境劣化のない陶板 (toban) の長を生かし、屋外に設置するサインとして活用されています。日光や雨風にさらされても、文字や地図が色褪せて読めなくなることはありません。道案内はもちろん、記念碑やモニュメントの説明に。



5 外壁装飾

陶板 (toban) は雨風に強く建材としての機能を備えています。駅やビルの壁面装飾など、街のあらゆる場所で活用可能。東京では国会議事堂中央塔屋根、大阪ではフェスティバルタワーの壁面モニュメントなど、誰もが一度は見たことがあるものも作っています。



企業情報

■ 会社概要

会社名	大塚オーミ陶業株式会社
本社所在地	〒540-0021 大阪市中央区大手通3-2-21
設立	1973年7月(昭和48年)
資本金	1億円
代表取締役会長	小松 喬一
代表取締役社長	大杉 栄嗣
営業品目	大型陶板 陶板名画 陶壁 レリーフ テラコッタ OTセラミックス 肖像陶板 サイン陶板 各種の設計・デザイン・製作・施工

■ 事業所・ショールーム

本社・西日本支店	〒540-0021 大阪市中央区大手通3-2-21 TEL:06-6943-6695 FAX:06-6943-6487
東日本支店	〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-2 大塚製薬神田第二ビル TEL:03-5295-3555 FAX: 03-5295-3556
信楽工場	〒529-1836 滋賀県甲賀市信楽町柞原926 TEL:0748-82-3001 FAX:0748-82-2125

信楽工場併設ショールーム 弊社オリジナル作品からアーティストとの共同制作品、文化財の複製再現製品など多数展示。見学ご希望の方はウェブサイトよりお申し込みください。

西日本支店ショールーム 随時、展示内容を更新しています。ご自由に見学していただけますので、お近くにお越しの際はお立ちよりください。

▶最新の情報は当社ウェブサイトをご覧ください。 <https://www.ohmi.co.jp/>

■ 大塚グループ各社

大塚ホールディングス株式会社／大塚製薬株式会社／株式会社大塚製薬工場／
大鵬薬品工業株式会社／大塚倉庫株式会社／大塚化学株式会社／
大塚メディカルデバイス株式会社／大塚食品株式会社／アース製薬株式会社／
株式会社JIMRO／大塚電子株式会社／大塚包装工業株式会社／大塚テクノ株式会社／
岡山大鵬薬品株式会社／アース環境サービス株式会社／イーエヌ大塚製薬株式会社／
株式会社ジェイ・オー・ファーマ

沿革

- 1973 ● 大塚オーミ陶業株式会社設立
- 大型陶板製造技術 (財)大倉和親記念財団賞
- 1980 ● 信楽工場(第1工場)建設
- 1982 ● ロバート・ラウシェンバーグ プロジェクト
- 1985 ● 第2工場建設、建築用陶板OTセラミックス製造販売
- 1989 ● 国会議事堂中央塔屋根 テラコッタ改修工事
- 日本文化デザイン会議 企業文化デザイン賞
- 1990 ● 大阪花博、名画の庭「最後の審判」等屋外展示
- 1991 ● 第3工場建設、テラコッタの本格的製造販売開始
- 1992 ● 新東京国際空港出発ロビー「日月四季」制作
- 1993 ● 中国・敦煌莫高窟323窟 剥離部分を陶板で再現
- 大阪新聞社 関西芸術大賞
- (社)日本建築協会 第3回日本建築協会賞
- (社)関西ニュービジネス協議会 第6回NBK大賞
- 1995 ● 「陶板開発によるサイン表現拡大への業績」
第29回SDA特別賞／(財)日本産業デザイン振興会会長賞
- 1997 ● ドラフトチャンバー(化学実験台)天板 受託開始
- 1998 ● 大塚国際美術館開館
- 2001 ● ガーデンミュージアム比叡に名画陶板設置
- 2002 ● MOA美術館 国宝仁清「色絵藤花文茶壺」の複製品製作
- 2003 ● 龍谷大学大宮図書館 トルファン「ベゼクリク仏教遺跡誓願図」陶板で再現
- (社)日本建築美術工芸協会特別賞
- 2007 ● 大塚国際美術館10周年記念事業システィーナホール天井画完全再現
- 2008 ● 関西大学千里山キャンパスに「高松塚古墳壁画再現展示室」設置
- 2010 ● 文化庁より「陶板によるキトラ古墳壁画等の複製等業務」履行
- 2012 ● 中之島フェスティバルタワー 「牧神、音楽を楽しむの図」製作
- 2014 ● 高野山金剛峯寺 所蔵「弘法大師坐像」3Dデジタル技術を活用・利用し、陶で複製
- 東京国際空港第3ターミナル 商業エリアに「江戸図屏風」設置
- 大塚国際美術館 ゴッホ 幻の「ヒマワリ」(通称:芦屋のひまわり)陶板で再現
- 2015 ● 三井住友銀行東館 テラコッタ壁 製作
- 「セラミックアーカイブ」商標取得
- 2016 ● キトラ古墳壁画体験館 四神の館に「キトラ古墳壁画」設置
- 2017 ● 創業45周年記念事業
- 2018 ● 第7回「ものづくり日本大賞」内閣総理大臣賞
- 新潟県十日町市 「国宝火焰型土器(指定番号1)」陶で複製
- 2019 ● 第25回ICOM(国際博物館会議)京都大会2019大塚国際美術館ブースへの出展
- 2020 ● 奈良県「法隆寺金堂壁画 第1号壁(焼損後)」陶板で複製